

ダイオキシン類に関する 15 年度調査結果を公表 厚労省



環境省は平成 17 年 3 月 31 日、日本人の体内に蓄積されたダイオキシン類の平均値は、脂肪 1 グラム当たり 24 ピコグラム(ピコは 1 兆分の 1)だったとの 2003 年度の「ダイオキシン類の人への蓄積量調査」結果を発表しました。

前年度調査の 27 ピコグラムと同レベルで、同省は「健康には全く問題ない濃度」としています。食習慣に関するアンケートも実施しましたが、血液中のダイオキシン濃度との関連は見られませんでした。

全国 272 人の血液を分析しましたが、大気や土壌汚染などが原因と見られる地域差は無く、過去にごみ焼却施設からのダイオキシン排出が問題となった大阪府能勢町や埼玉県所沢市周辺でも全国的傾向と大きな違いはありませんでした。

資料:2005 年 3 月 31 日付 共同通信

受注管理箇所 尾崎 将道

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

